



令和2年3月27日

報道機関 各位

芸術文化学部附属技藝院（文化財保存・新造形技術研究センター）を設置

富山大学芸術文化学部では、伝統的技術と最新の計測・造形技術を応用し、文化財保存修復や最新の技術・デザイン領域を研究することを目的とした富山大学芸術文化学部附属技藝院（文化財保存・新造形技術研究センター）を、令和2年4月に設置することとなりました。

本センターは、木工、漆工、金工、などの伝統的な素材における技術研究・調査を、従来の研究方法と同時に、最新のデジタル機器やソフトウェアを駆使してデータ調査、分析を行い、それらを応用して今後の新しい文化財保存修復の考え方やノウハウを確立するとともに、日本の工芸の技が世界的に注目を集める中で、芸術・デザイン領域で新しい創造性を広げ、伝統的な手わざを大切にしながら、現代の技術を積極的に応用した新しいものづくりの開拓を目指します。

これまで手掛けてきた地域の祭り屋台等の民俗文化財保存修復をよりの確に高精度で行えるように、大学における専門的な知識を活用し産官と連携して地域の芸術文化の保存、発展に貢献したいと考えます。また、従来の造形手法と同時にデジタル技術を用いた最新の造形手法を融合させて、新時代における創造性の枠を広げたいと考えております。

つきましては、下記のとおり開所式を行いますので、取材・報道方宜しくお取り計らい願います。

記

1. 日 時 令和2年4月1日（水）10：00～（15分程度）
2. 場 所 富山大学高岡キャンパスC棟1階

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学芸術文化学部芸術文化学科
卓越教授 林 暁
TEL：0766-25-9139